

アスベスト問題に係る対応状況について

－アスベスト含有調査の中間報告－

1. 9月20日までの調査結果（9月20日の記者会見時に説明）

本学における建築物のアスベストの対応は、昭和62年に調査を行い、その段階で「吹き付けアスベスト」については既に必要な対策を講じてきたところであるが、近年、アスベストによる健康被害が深刻化していることを受け、今回新たに「吹き付けロックウール」、「吹き付けひる石」及び「折板裏打ち石綿断熱材」の3品目の使用状況について、実態調査を行っている。

平成8年（規制強化）以前に建設された建物	729棟	89万㎡
その内、アスベスト使用の可能性があるか、使用の有無が不明なもの	270棟	
<u>内、調査対象（アスベストが露出していない5棟を除く）</u>	<u>265棟</u>	<u>(7,235室、約118,200㎡)</u>
・設計図書等からアスベストの使用が推定される建物	39棟	(787室、約26,900㎡)
・アスベスト使用の有無が不明な建物	226棟	(6,448室、約91,300㎡)

2. 9月20日以降、これまでの調査経緯

(1) 現在の調査状況

アスベスト含有の可能性が高いもの及び含有の有無が不明な部分については、現地調査において①目視調査（調査対象建材の劣化状況の把握）、②サンプリング調査（アスベスト含有の有無が不明な部分について、アスベスト含有の有無と含有量を分析）、③空気中の粉じん濃度測定を実施中である。

(2) 現時点での調査結果

目視調査、サンプリング調査等を実施中であるが、現段階でアスベスト含有の有無が判明しているのは以下のとおりである。

なお、アスベスト含有の有無については※定性分析による速報値であり、アスベストの含有量については、現在分析中である。

※定性分析：アスベスト含有の有無についての分析。アスベストの含有量については、定量分析で行う。

①アスベスト等があるもの	134棟(2,877室、約88,200㎡)
②上記①のうち、室内に露出しているもの	129棟(2,723室、約83,900㎡)
③現在調査中のもの	38棟(276室、約12,300㎡)

注) ①及び②には③の調査中のものを含む。

なお、現時点では、アスベストが飛散し暴露のおそれのある部屋は確認されていない。

3. 今後の予定

- (1) 学生宿舎及び職員宿舎において、目視調査（調査対象建材の劣化状況の把握）ができていない部屋（約340室）について調査を行う。
 - (2) アスベストの含有量の調査結果が判明次第、建物使用者等に通知する。
 - (3) 今後の調査において、アスベストの含有が確認され、劣化等により飛散し、ばく露のおそれが生じた場合には、対応方法を速やかに検討して建物使用者等に通知する。
- 以上について、速やかに対応を行い、12月中旬を目途に取りまとめを予定している。

問合せ先：施設部施設企画課

電話：853-2271

(参考)

調査フロー

